

平成25年行政事業レビューシート (復興庁)							
事業名	被災した自衛隊施設の復旧(復興関連事業)		担当部局庁	復興庁	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～平成27年度		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・東日本大震災により損傷した有事の際に活動の拠点となる庁舎、災害派遣活動に使用する物資などを集積する整備補給施設等を復旧する						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・東日本大震災により損傷した庁舎、整備補給施設等を復旧し、自衛隊の任務遂行に必要な活動基盤を確保するもの。 ※ 本事業は、25年度から復興庁で一括計上し、防衛省にて執行するものである。 (平成24年度防衛省 事業番号:9.10.95.97.100.105.108.114.425)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算			11,414	3,950	
		補正予算			-		
		繰越し等			-		
	計			11,414	3,950		
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	当該年度に完了した事業の件数を記載 (24年度には対象事業が無いため記載せず)		成果実績 件			-	
			達成度 %			-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	各年度に契約した 建設工事の件数を記載 (24年度には対象事業が無いため記載せず)		活動実績 (当初見込み)			-	-
					()	-	(54)
単位当たりコスト	本事業においては、種々の施設の復旧を行い整備内容が異なることから、一概に単位あたりコストを算出するのは困難である。		算出根拠	本事業においては、種々の施設の復旧を行い整備内容が異なることから、一概に単位あたりコストを算出するのは困難である。			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	施設整備費	11,414	3,950	一部事業の完了による減			
	計	11,414	3,950				

事業所管部局による点検				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	自衛隊施設は、政府の防衛計画に基づき、施設のユーザーである各幕僚監部と整備の必要性などについて協議した上、整備内容等について決定し、財政当局と予算折衝を行っている。また、当該予算は、国会承認の後、地方防衛局へ示達され、ほとんどが一般競争入札により工事請負業者と契約する。自衛隊施設の建設は、以上のような過程を経て実施されていることから、国が実施すべき事業であると考えられる。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	災害対応を含め各種事態に対応する際の基盤を整備するものであり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	自衛隊施設は、政府の防衛計画に基づき、施設のユーザーである各幕僚監部と整備の必要性などについて協議した上、整備内容等について決定し、財政当局と予算折衝を行うといった過程を経て整備されている。厳しい財政事情を踏まえ、施設の喫緊性・必要性などを勘案した真に必要な事業に限定して整備している。	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名	
点検結果	1. 必要性 震災による損傷を復旧するものであり、大規模災害等が発生したときでも自衛隊の活動拠点として重要な役割を担う施設である。			
	2. 効率性 分散している老朽著しい施設、類似性のある施設等は統廃合の検討を行い、最新の技術を活用するなど、コスト縮減に努め効率的な整備に努めている。			
	3. 有効性 大規模災害等を含む各種事態が発生した際、自衛隊の部隊行動の拠点として重要な役割を担う施設である。			
	4. 総合評価 自衛隊の部隊行動の基盤となる施設の震災による損傷を復旧するものであり、損傷からの単純な復旧だけでなく、集約化を行うなどの検討により建設コスト縮減を目指している。			
外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見				
-	自衛隊施設の復旧に資するため、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行に努めること。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
-	事業の目的である、自衛隊施設の復旧に向け、引き続き効率的・効果的な執行に努めていくこと。			
備考				
(防衛省 事業番号 146)				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年		平成23年		平成24年

※本事業に関して、平成24年度には執行実績が無いことから、25年度における資金の流れの見込みを記入した。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

